

青葉みちまち新発見

青葉校区自治連合協議会事務局

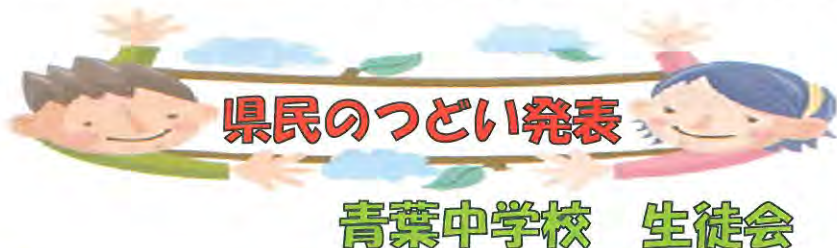
青葉3丁目10-8(東区青葉公民館内) 電話092-691-1237

新年号

青葉中学校生徒会の地域防犯活動事例紹介

福岡県では安全で安心なまちづくりを実現するため、地域防犯活動団体・活動事業者・活動機関を一堂に集め、ネットワークづくり・連携の強化を図り、活動団体にやりがいと励みを与えるとともに、活動に関心がある県民が地域の防犯活動に参加する契機とするため「安全・安心まちづくり県民の集い ふくおか」を平成24年10月8日(日曜日)に福岡市中央区渡辺通りにある電気ビル供創館(電気ビルみらいホール)にて開催しましたが、今年は青葉校区での中学校の生徒会と自警団組織等との合同防犯パトロール活動が紹介されました。この青葉校区における中学校生徒会との合同パトロールは今年で7年目となり、学校の夏休み期間中を利用して毎年実施されています。

県民の集い当日においては、中学校生徒会による活動紹介も会場内に放映されるなど注目を浴びての活動報告を行うことが出来ました。



生徒会長の森原梓です。ここからは、実際に体験したこと、これから心がけていくことについてお話しします。私たち青葉中学校の生徒会では、地域の活動にも参加するため、毎日中学校で行っているあいさつ運動を時々拡大して、小学校の児童会やPTAの方々と同様に地域の交差点に出て、あいさつ運動を行っています。また、夏休みの一日には、恒例のパトロール参加を行いました。今年で7回目になります。これは地域の自警団のほか、警察の方々にも来ていただき、本物のパトカーに乗って、地域をパトロールするものです。マイクを使い、「戸締まりをしましょう」「自転車の2人乗りはやめましょう」などと呼びかけながら、生徒会全員がパトロールをします。改めて青葉校区の広さを思い知ると同時に、ここは暗くなると注意が必要だ、などのポイントも見えてきました。

パトロール後は、警察の方や地域の方々と話し合う機会がありました。警察官の方が青葉のように地域住民が積極的に防犯活動に取り組む地域では、犯罪が起きにくいとおっしゃっていました。悪いことをしている人を見つけるのではなく、人の目が行き届いていることで、悪いことができない雰囲気をつくるのが何より大切なんだと思いました。

私たち生徒会では、自分たちの学校をよくする事はもちろん、さらに世の中の役にたつことも何かしたいと思い、以前からユニセフ募金をしていますし、2年前からは、東日本大震災募金を定期的に行っています。私たちは2年間、生徒会役員として活動をしてきたなかで、これらの募金活動もちろん大切ですが、今後はもっと身近にも目を向けて、地域のためになることをしたいと思うようになりました。

たとえば、私たちが幼いころからずっと見守ってくださった地域の皆さんがこれから高齢になられます。そのとき、もし一人暮らしで困ったことなどあったり、さびしいときがあったりしたら、中学生が話を聞いたり、ちょっとしたことを手伝ったりすることはできないでしょうか。自分のおじいちゃん、おばあちゃんに接するように地域のお年寄りに接することができたらいいな、と思う気持ちです。これからの生徒会では、このようなことも考え、実現できたらよいと願っていますので、後輩たちにもこの思いをしっかりバトンタッチしたいと思います。

こんにちは。青葉中学校生徒会 副会長の河野寛です。青葉中学校は創立23年を迎え、その名の通り緑に囲まれた自然豊かな中学校です。すぐ近くの青葉公園からは福岡市内はもちろん、背振山、油山など一望できます。それから、青葉小学校と青葉中学校は一小一中のため、小学校から中学校に上がっても、ほとんど同じ場所に通学し、仲間も小学校からずっと同じ人たちだけなので、とてもスムーズに中学校生活になじむことができ、よく言われる「中一ギャップ」とは無縁の落ち着いた学校だと自信を持っています。

また、青葉校区は、主に住宅地区のためマイホームを買って引っ越してきた世帯が多く、そのためあまり人が入れ替わらず、青葉をふるさととして永く住んでいる方がたくさんいます。このような地域と学校の特性のためか、青葉校区では毎日のように安全パトロール隊の方々が行っています。小中学生の登下校時にはいつも緑のジャンパーを羽織り、「おはよう」「いってらっしゃい」の声をかけてくださったり、青いランプのパトカーで校区内を循環してくださったりと、とても心強く感じています。

その方たちは主に小中学生のおじいちゃんおばあちゃんくらいの年齢の方たちです。学校から自宅までかなり遠い児童もいますが、特に下校時には後ろから見守るように付き添ってくださっています。また、夜や深夜にもパトロールを行ってくださっています。

忙しい毎日に時間を作ってこのように活動を続けることは本当に大変だと思いますが、パトロール隊の皆さんはいつも笑顔で楽しそうな顔をなさっています。ご自分の子どもたちが青葉校区でお世話になったのでその恩返しをしたいのと、

自分たちのすむ青葉が安全で住みよい街であってほしいとの願いから続けられているそうです。ここで交代します。



頑張れ地域の宝！～子ども達の活躍が地域の元気につながります～



「青葉中学校吹奏楽部の皆さん」

青葉校区ふれあいまつり芸能発表会で毎年プログラムの最後を飾る「青葉中学校吹奏楽部」。力強いクラシックの名曲からアニメのテーマソング、演歌や童謡まで、ジャンルは多様。その若さあふれる演奏は、地域の幅広い年齢の皆さんを魅了し、聴く人みんなに元気を与えています。

その他にも地域では、公民館の幼児教育講座で、小さな子ども達が生の音楽にふれる機会を作ってくれたり、青葉公園の音楽祭に出演したり。青葉小学校や東福岡特別支援学校での演奏も、子ども達に大好評です。

今年度、6月の「瀬戸口藤吉翁記念行進曲コンクール(全国本選)」で金賞。7月には第12回「福岡地区中学校吹奏楽コンクール」で金賞、第57回福岡吹奏楽コンクールで銀賞など、ますます躍進を続ける青葉中学校吹奏楽部。「心のこもった音楽づくり」を…との顧問の今林先生・西村先生・生徒の皆さんの心意気が、聴く人の胸に届き、地域のファンは増え続け、「吹奏楽部がんばれ！」の応援の雰囲気地域に広まったこともご活躍を後押ししたかもしれません。12月26日には、大阪で行なわれる「こども音楽コンクール西日本優秀校発表会」に出演されるそうで、今後の活躍も楽しみです。

12月23日(日)13時30分からは、公民館でクリスマスコンサートも予定されています。心豊かな時間を過ごしに、また若い彼らに「がんばれ！」の応援の気持ちを伝えに、皆さん是非公民館へお越しください。(執筆11月)



第3回 管打楽器ソロコンテスト
福岡吹奏楽連盟理事長賞 受賞
3年 伊藤 亮二君

青葉校区自主防災訓練



11月18日(日)午後2時より、東福岡特別支援学校で自主防災訓練が開催されました。各町内から15名程度の募集で約150名の方に参加いただきました。

今年度は防災訓練でなく、市の出前講座を活用し講義を受けていただきました。講義は、福岡市市民局防災・危機管理課 馬場 孝徳様と博多あん・あんリーダー会の皆様で、まず馬場様から福岡市の警固断層の説明があり、3100年ごとの周期で、最後に断層が動いたのが今から3400年前。すでに300年たっており、いつ起きてもおかしくない状況とのことでした。警固断層が都心部の下を通過しており、地震が直下型になるので、かなりの被害が想定されるそうです。また、阪神淡路大震災では建物の下敷きになって助かった人のうち、公的機関から救助された人は2%。(福岡市の活動できる救急車はわずか26台!)大災害では公的機関はあてにはできない、自分たちの命は自分たちで守らざるを得ないとのことでした。

それでは実際に自分たちの身を守るにはどうすればいいかということで、博多あん・あんリーダー会様から講義がありました。まず、自分たちの住む場所にはどんな災害が想定されるかをハザードマップなどで知っておく。そしてそれに対する対処法を知り、訓練しておく。たとえば消火器の使い方や心肺蘇生法、AEDの使い方、避難場所の確認、災害伝言ダイヤルの使い方など知って、定期的に訓練するのが肝心ということです。その他、いろんな場面で地震が起きた時や逃げる時どう対応するかをシュミレーションしておく。また、家庭の地震対策として寝る位置にタンスを配置しないなど、家具の配置見直しや、固定処理を行う。

地域での防災対策のヒントとして、以下のような提案をされました。地域で集まり地図をおいてどう避難するか検討する。町を歩いて危険箇所を探す。避難場所での受付をどこにするか、物資をどこで受け付けるか、などシュミレーションする。クロスロードゲームを体験する。防災運動会を開催する。そして、年1回は地域で集まり防災について話し合い、訓練してほしいとのことでした。最後に防災とは備えることという言葉で講義が終わりました。今回の講義を参考にご家庭の災害対策と地域の防災対策に生かしていただければと思います。

